

## 第1回 小布施町基本構想審議会 会議録

日 時： 令和元年7月17日（水）15:30～16:50

場 所： 小布施町役場3階 公民館講堂

出席者名簿：

<委員>

氏 名	役職等	備考
小西 和実	小布施町議会総務産業常任委員長	
福島 浩洋	小布施町議会社会文教常任委員長	
牧 良一	J Aながの須高地区担当副組合長	
桜井 昌季	小布施町商工会長	
大窪 経之	小布施町文化観光協会長	欠席
中嶋 聞多	信州大学 特任教授 地域活性学会長	欠席
田中 はる子	小布施町農業委員会長	
高野 薫	小布施まちづくり委員会 副会長	
近藤 和美	小布施町保健福祉委員会長	欠席
黒岩 祐介	八十二銀行小布施支店長	
徳武 進	長野信用金庫小布施支店長	
飯田 幸仁	小布施町勤労者協議会長	
丸山 康照	株式会社 Goolight 代表取締役社長	欠席
真野 毅	長野県立大学	
中條 雄三	小布施町民生児童委員協議会長	
鶴田 昭平	小布施町老人クラブ連合会長	欠席
宮島 義人	新生病院 常務理事	欠席
湯本 大樹	中学校PTA会長	欠席
市村 憲彦	小布施町文化協会長	
山崎 幸治	小布施町体育協会副会長	

<基本構想審議会 幹事><総合計画策定幹事会 幹事>

氏名	課名	職名
久保田 隆生		副町長
中島 聰		教育長
竹内 節夫	総務課	課長
中條 明則	財務課	課長
林 かおる	健康福祉課	課長
西原 周二	産業振興課	課長
畔上 敏春	建設水道課	課長
三輪 茂	教育委員会	次長
山崎 博雄	議会事務局	事務局長

<基本構想審議会 書記><総合計画策定幹事会 事務局員>

氏名	課・係名	職名
山岸 正男	総務課	政策幹
寺島 文彦	総務課・総務係	係長
宮川 伸幸	財務課・財政係	係長
涌井 典男	財務課・税務会計係	係長
荒井 政人	財務課・税務会計係	会計幹
須山 和幸	健康福祉課・福祉係	係長
永井 芳夫	健康福祉課・健康係	課長補佐
藤沢 憲一	健康福祉課・住民係	係長
原 茂	地域包括支援センター	所長
富岡 広記	産業振興課・商工振興係	課長補佐
湯浅 泰明	産業振興課・農業振興係	係長
鈴木 利一	建設水道課・上下水道係	係長
林 信廣	建設水道課・建設管理係	係長
芋川 享正	建設水道課・都市計画係	係長
宮崎 貴司	教育委員会・子ども支援係	係長
高野 伸一	教育委員会・生涯学習係	係長
八代 美千代	栗ガ丘幼稚園	園長
西澤 裕子	つすみ保育園	園長
市川 孝子	わかば保育園	園長

<事務担当>

氏名	課・係名	職名
須藤 彰人	企画政策課	課長
益満 崇博	企画政策課定住交流係	係長
湯浅 憲彦	企画政策課企画係	係長
町井 溪介	企画政策課企画係	主任
大宮 透		地方創生推進員

## 1. 開 会

益満[事]： 第1回小布施町基本構想審議会を開催します。進行を務めさせていただきます、企画政策課定住交流係の益満と申します。よろしくお願ひします。では、次第2の基本構想審議会について担当より説明を差し上げます。

## 2. 審議会条例、規則の説明

湯浅[事]： 審議会条例、規則について説明

## 3. 委員委嘱

益満[事]： ただ今説明のあった小布施町基本構想審議会条例の第3条2項の規定に基づき、町長より委員のご委嘱を申し上げますのでよろしくお願ひします。本来であれば、皆様にご委嘱申し上げるところであります、時間の関係上、小布施町議会社会文教常任委員長の福島様にご委嘱申し上げます。

—町長より委嘱—

## 4. 会長挨拶

町 長： 改めまして皆さんこんにちは。お忙しいなか、暑い中、誠にありがとうございます。審議委員の皆様には大変ご苦勞をおかけしますが、今後5年、10年の小布施町の近未来を見据えていただき、持続可能で活力ある、どなたにもやさしいまちづくりの伸展のためにご尽力をどうぞよろしくお願ひいたします。総合計画は、平成28年から実施していますが、町民の皆さんの力強いお力のおかげで伸展させていただいています。この計画は5年間の計画で2016年から2020年、来年までの5か年計画で、今年4年めである。総合戦略は、今年度、見直しし、来年度からのスタートであるため、総合戦略と総合計画が整合性をもって表裏一体となるべく1年前倒しして総合計画を策定させていただくこととしました。世の中のスピードに合わせるという意味でも

前倒しすることはよいことではないかと思っています。日本国内の経済状況、国際状況もなかなか難しい面があります。そのような中、この小さな小布施町がしっかり対応していくためにも第6次総合計画の策定をめざしていくものであります。医療、保険、介護、福祉、環境、教育、子育て支援、防災、産業振興と基本的な事業があります。基本的な部分は重要であり、しっかり行っていく必要があることに加えて、例えば国際的な地球規模のミッションであるSDGsなども中心に据える必要がありますし、急速に進む第5世代移動通信システムへの対応なども求められています。また、先ほどの総合戦略推進会議で黒岩委員からもご指摘がありましたが、地域内経済循環という、取り組みにくい取り組みなくてはならない課題などがあります。今日は委員の皆様ですが、多様な町の皆様のご意見をしっかりと聞きながら、計画策定を行っていきたいと考えています。皆さんの英知と熱情をこの計画に盛り込んでいただいて明日からの小布施町をますます希望が持てる町にしていきたいと思っています。大変お忙しいなか恐縮でございますが、どうぞ今後の小布施町のためにご尽力くださいますようお願い申し上げます。

## 5. 委員紹介

益満[事]： それでは、8の審議まで町長に進行をお願いしたい。

町長： それでは、委員の皆様からの自己紹介をお願いいたします。

－各委員紹介、欠席委員紹介－

## 6. 会長の互選について

町長： 続きまして、基本構想審議会の会長をお決めいただきたい。互選をお願いしたい。

小西委員： 様々なご経験とネットワークをもつ桜井委員に会長をお願いしたいと思う。どうぞよろしくをお願いします。

町長： 小西委員から桜井委員の推薦があったが、委員の皆さんいかがか。賛成いただける方は拍手をお願いしたい。

－委員全員拍手－

町長： それでは、桜井委員、どうぞよろしくをお願いいたします。

益満[事]： それでは、桜井会長から会長代理の推薦をお願いできればと思う。

桜井会長： 会長代理として、高野薫さんをお願いしたい。

町 長： 高野さんというご指名であった。委員の皆さんいかがか。賛成いただける方は拍手をお願いしたい。

－委員全員拍手－

町 長： 桜井会長と高野会長代理に挨拶をお願いしたい。

桜井会長： こんにちは。経験未熟ではございますが、会長の任務を果たしたいと思います。よろしくお願いいたします。小布施町は本当によい町であり、とても好きな町である。5年後、10年後どうなっているかわからないくらい時代の流れが早い。ここに集まる方は皆さん住民や町で働く人の幸せを考えていらっしゃる方である。町に関わる人がみんな幸せになるというのが目標である。小布施町は誰も思いつかなかったような幸せな方を生み出せるようなポテンシャルを持っていると思っている。それを見つけるべく取り組みたいと思っているのでよろしくお願いします。

高野委員： 皆さんで意見を出し合いながらよい町になるようにお互いのことを考えながら進めていけたらよいと考えている。どうぞよろしくお願いします。

## 7. 諮問

益満[事]： それでは、市村町長から桜井会長に諮問書をお渡しする。どうぞよろしくお願いします。

－市村町長から桜井委員に諮問－

## 8. 審議

益満[事]： 審議に入る前に職員の自己紹介をさせていただく。

－職員紹介－

益満[事]： それでは、桜井会長に進行をお願いしたい。

桜井会長： 基本構想審議会の条例に基づき、進行をさせていただきたい。運営規則第5条に基づき、署名人の指名をさせていただきたい。名簿順で、小西和実委員と福島浩洋委員をお願いしたい。

小西委員・福島委員： よろしく申し上げます。

桜井会長： では、審議に入りたい。

(1) 人口ビジョン、総合戦略（KPI）、基本構想の考え方・推進体制、総合戦略改定に合わせ  
1 前倒し

湯浅[事]： 資料説明

桜井会長： ご意見、ご質問ありましたらお願いしたい。

真野委員： 前期基本計画や総合計画という記載があるが、総合計画そのものを新たに作ろう  
としているのか、12 ページに記載がある地方版総合戦略として一体的なものを作ろ  
うとしているのか。

湯浅[事]： 一体的に策定しようということである。

真野委員： 国の方針に基づき策定していた総合計画ではなく、小布施町としての総合的な総  
合戦略を新たに作ろうということによいか。

湯浅[事]： はい、そうである。

真野委員： 資料の文章を修正いただければと思う。

桜井会長： 12 ページに「町民ワークショップの開催」とあるが、これは自由発生的に開催を  
期待するのか、行政が働きかけるのか。

湯浅[事]： のちほど説明差し上げるが、これから検討の必要はあるが、住民の方から広く意  
見を募集したいと考えている。

高野委員： 14 ページに SDGs と記載されているが、どのように捉えればよいか。

大宮[事]： 14 ページの図は、総合戦略を検討する前提条件として、SDGs などの社会情勢や町  
内のいろいろな動きなどの検討材料を図的にまとめたものである。これがそのまま  
総合戦略に反映されるわけではないということをご理解いただきたい。持続可能な  
開発目標（SDGs）とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発  
のための 2030 アジェンダ」に記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標であ  
り、17 のグローバル目標から構成されている。発展途上国における目標とも捉えが

ちであるが、小布施町でもこの目標を前提とするべきであるということを示している。

福島委員： 14 ページの中に人権・差別に関する項目の記載がないと思うがいかがか。

大宮[事]： この図は、新しい動きに対して記載したものであり、人権などに対しての課題や計画の記述なども必要となると考えている。

小西委員： SDGs は国際的な目標であり、わかりやすいが、フレームが大きすぎて町という単位合うように検討するのは大変ではないかと思うがいかがか。

湯浅[事]： ご指摘のとおりでもあるが、小布施町でも国際的な開発目標に準じた目標を掲げていきたいと思っており、ご協力とご支援をお願いしたい。

桜井会長： 他にご意見などあるか。なければ、次の議題に入りたい。

## (2) 計画策定スケジュール

大宮[事]： 資料説明

桜井会長： ご意見やご質問などあるか。

真野委員： 第 6 次総合計画を策定するのか、あるいは、新たに小布施の総合戦略を策定するのか。

大宮[事]： ご指摘いただいた点があいまいになっている点であり、「第 6 次総合計画」や「総合戦略」などの記載が混在している。今後、整理と共有したい。総合計画と総合戦略を一体化するという認識ではある。

湯浅[事]： 戦略を盛り込んだ総合計画にしたい。という意図である。

真野委員： 総合戦略は、実際には既存の事務事業を分類して体系化しただけになっていることが多い。議会などで市政方針や予算などを説明する際には使いやすいが、戦略として実際に動いているかという動いていないところがある。市政方針を分類して分かりやすくしているという総合計画の良さはあるが、それ以外に政策として目的と手段の関係ができていないかというできていない現状がある。総合計画そのものを求められなくなっているのであれば、総合計画と一体化した小布施の地方

版総合戦略を新たに作るというイメージで取り組まれた方がよいと思う。

大宮[事]： 現状の小布施町の総合計画は分野別の大きな方向性と大まかな目標設定や KPI があいまいである。今回は、総合計画と総合戦略を一体的にすることで、目標設定までしっかり盛り込もうということが今回の意図である。

桜井会長： 他にいかがか。

高野委員： 真野先生のご指摘どおり、机上の空論ではなく、実際に私達がこういうまちづくりをしていこうということが戦略を基に共有できるとよい。SDGs についての議論は必要だと感じているが、専門部会で議論していく中できちんと議論されるか懸念している。また、町民参加は必要だと思うが、町民ワークショップの開催が 1 回だけのため、意見を言うだけになってしまうことが懸念される。

大宮[事]： 専門部会のあり方については、分野の切り方など最終的な結論に至っていない。イメージとしては、分野を 5~7 分野程度とし、各部会に町民の方 2~3 人程度、合計 10~20 名くらいの町民の方に参加いただき、施策立案くらいまで深く議論に関わっていただくイメージである。参加に関してはまちづくり委員会の皆さんにもご協力いただきたいと考えている。専門部会は、第 1 回を 10 月初旬から中旬に行い、第 2 回を 11 月に実施予定である。その中間に中間発表会としてミニワークショップの開催を予定している。また、12 月中旬の最終報告会でも報告だけでなくミニワークショップを開催予定である。より多くの町民の方のご意見をいただける場を作っていく予定である。100 人などの人数で深い部分まで詰めることは難しいと考えており、専門部会で深い議論ができればよいと考えている。

議論の途中で SDGs などの重要な要素がなくなってしまうのではないかという懸念に対しては、やってみないと分からない部分もあると感じている。必要に応じ、勉強会の開催なども考えられるのではないかと思っている。

桜井会長： 分野別の専門部会であるとのことだったが、福祉と産業政策、移住定住と子育てなどは、密接に関わる内容も多い。分野を完全に独立させるよりは、内容を共有しながら、合同ワーキングなどを行う必要が出てくるのではないか。そのような意味では、各専門部会のファシリテーターの役割やそれを統括するコーディネーターの役割が重要であると感じる。ファシリテーターの役割はとても重要で、議論が拡散すると收拾がつかないし、べき論になるとつまらない。役場の職員の方の役割が重要であるので、ファシリテーター研修を行うなども必要ではないかを感じる。

大宮[事]： ご指摘のとおりであると感じる。ただ、はじめから分野を分けないと收拾がつかないということになり兼ねないため、分野別で議論を深めた上でお互いの議論を共

有し、密接に関わる部分を確認しながら適宜機会を作りたい。ファシリテーターに関するご指摘は、検討していなかった部分であるので、検討していきたい。

真野委員： ファシリテーターに関しては、豊岡市でも参加型の政策評価をやっており、毎年1週間研修会などを実施している。知っているだけにファシリテーションができないようなこともよくある。自分がニュートラルなポジションに立って意見を抽出していくようなことはちゃんと研修を受けた上でやった方が効果が出ると思う。高野委員からも指摘があったが、ワークショップを実施する際に、行政がやるいい計画を立案するのか、地域全体でアクションを含めた計画を立案するのかという視点が重要である。このため、ワークショップをする際に当事者になってくれそうな人たちに入ってもらい、「自分たちが作った政策なので参加して一緒に政策を実行していく」という動きも視野に入れる必要がある。産業政策分野などでは、政策によって違うが、5GやAIなどを知っている人に入ってもらおうとよい。

大宮[事]： ファシリテーターについては重要であると感じている。この計画を行政のメンバーにとって重要な計画にするのか、この計画が住民の方が自主的に活動するきっかけにするのかという意味では、両方を達成する必要があると感じている。経営戦略という視点を記載している理由は、計画に記載するかどうかは別であるが、行政職員として見返せる指針となるような計画にしたいという思いからである。しかし、地域づくりは、行政職員だけでは行えないため、この計画をきっかけにいろいろな活動が生まれたらよいと考えている。その手段をどうするかということについては今後検討を深めたい。

桜井会長： では、次の議題に移りたい。

### (3) 人口ビジョン

湯浅[事]： 人口ビジョンの考え方について資料説明

桜井会長： ご意見やご質問などあるか。ないようであるので、次の議題に移りたい。

湯浅[事]： アンケートについて資料説明

桜井会長： アンケートの修正などは可能であるか。

湯浅[事]： ご意見いただければ、修正などの対応をしたい。

桜井会長： では、ご意見などあったら、事務局までご連絡いただくこととしたい。全体を通

してご意見ご質問があればお願いしたい。ないようであるので、これで審議を終わりたい。

#### (4) その他

益満[事]： ありがとうございます。最後に2点事務局から連絡を差し上げたい。8月24日(水)「未来の年表」の著者である河合雅司さんの講演会を開催するため、ご都合つければ参加いただきたい。また、本日のお帰りの際に第5次総合計画・後期基本計画の冊子をお配りする。

#### 9. 閉会

益満[事]： これをもちまして、小布施町基本構想審議会を閉会させていただきます。みなさまありがとうございました。

以上